



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 977 回(1 月 7 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
第 2 副 S A A 野口(建)君、沼崎君
卓話講師 米山記念奨学生 金強重 君
ビジター 井上英紀 様(東京北 R C)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	33 名	93.75%	90.90%

心意気が人気で、昔はどの家にも飾られていたものです。



このだるま、由来もユニークで、禅宗を開いたインドの僧侶、達磨大師がモデルだそうです。壁に向かって 9 年間座禅をし続けた姿がだるまのモチーフとなり、強靱な意志を持つシンボルとして伝えられてきたのかもしれませんが、現在はおきまりのオーソドックスな形のものから、現代風にデザインされたものまで、いろいろな形のだるまがあります。

福を招く【招き猫】

招き猫の由来は諸説ありますが、東京・豪徳寺の話がよく知られています。江戸時代、鷹狩りの帰りに、井伊直孝が豪徳寺の前を通りかかったときのこと。そこにいた和尚の猫が手招きするようなしぐさをしているので寺で休息すると、雷雨が降り始め、ぬれずにすんだという逸話です。豪徳寺の境内では招き猫が販売されていますが、みな、美しい顔をしています。



右手を上げた猫はお金とのご縁を、左手を上げたものは人とのご縁結びに力を貸してくれるとか。遠くから福を集めたいときは手を長く伸ばした招き猫がお勧めです。

高く揚げて運氣上昇【凧】

絵柄が美しい凧は、外国への日本土産としても人気です。昔は商売繁盛、福を招くために競うように大人が揚げたものだったそうです。



高い空を見て暮らしているといいことがある、という言い伝えも、凧を揚げれば長時間実行できそうです。

午年にうまくいくように願う【絵馬】

絵馬は願い事を神様に伝えるための手紙です。全国各地にはさまざまな形の絵馬があり、お土産に持って帰りたくなるようなものもたくさんあります。

もともとは、神様の乗り物と考えられてきたほ

会長の時間

栗原(憲)会長

「縁起もの」について

よい縁が起きるものと書いて、「縁起もの」。日本人は飾ったり、身につけたりと、昔から縁起ものを大事にしてきました。お正月にふさわしい縁起ものの由来を紹介させていただきます。



神様がいっぱい【七福神】

七福神は江戸時代に大流行した七人の神様。それぞれがさまざまな分野のパワーを持っているので、お願い事別にお祈りできて、身近な感じがします。元旦から七日までの間、もしくは十五日までの間、七福神をお参りして歩くことを、「七福神参り」と言いますが、御朱印がいただける色紙や、七福神の鈴の拝受など、場所によってさまざまなお楽しみがあります。

七人の神様の由来を調べていきますと、意外なことに日本出身の神様は恵比寿様だけ。あとの 6 人はというと、たとえば毘沙門天はインド生まれ、福祿寿は中国生まれ、弁財天もインド生まれ、と世界中からの由来になっています。



七転び八起き【だるま】

何度転んでも、失敗してもめげずに何度でも起き上がる！という気概を表す真赤なだるま。この

んものの馬を神様に捧げる風習が変化したものです。

【福茶】で無病息災

年が明けていちばん最初に汲んだ水、若水で福茶をいれて頂きます。その年に汲んだ湧水などの若水のペットボトルも販売されています。

年始や節分に飲むと無病息災、といわれている福茶ですが、地方によって作り方は多少違うようです。

大福茶はおわんに昆布と梅干を入れ煎茶やお湯を注いで作ります。若水とは元旦に初めて汲んだ水のこと。福茶に若水を使うと良いということです。

もともとはお年玉【餅】

餅は神聖な稲のパワーを集めて作った聖なる食べ物です。昔はハレの日にしか食べられないものでした。

お供えした餅には神様の力が宿ります。その餅をみんなで分けて神様のパワーをいただいたのが、お年玉だったということです。

幹事報告

宮野幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 1・2月プログラム承認
- (2) 寺子屋基金積み立ては、名称を変更(奉仕事業基金)して継続する
- (3) 青少年交換留学生うけいれについて
- (4) 「マイロータリー」アクセス方法について
 1. 地区大会収支報告書について
 2. 2016～2017年度、ガバナー適任者の推薦依頼について
 3. R財団、海外派遣奨学生募集について
 4. 埼玉県倫理法人会、新春賀詞交歓会について
 5. 学友会ニュース(181号)について
 6. タミラ君よりのメールについて
 7. 受贈会報 所沢東RC
 8. 例会変更 新所沢RC



「会員卓話」・・・・・・・・

米山記念奨学生 金強重君

『グローバル時代の翻訳・通訳の重要性と産業化について』

- 翻訳・通訳サービスの産業化による国益増加 -



今の時代はグローバル時代であり、Trans-Pacific Partnership (環太平洋戦略的経済連携協定)、Free Trade Agreement (自由貿易協定)、Economic Partnership Agreement (経済連携協定)などを通してそのグローバル化はまだまだ進んでいるところである。このようなグローバル時代に最も必要なものはコミュニケーションを通じた国と国の円滑な交流ではないだろうか。このような理由で国と国を、世界の人と人を繋ぐ翻訳・通訳はこれからもっと重要になり、それにしたがって翻訳・通訳の需要も伸びていくと考えられる。

2013年9月、2020年の夏季オリンピックの開催が日本の東京に決まった。オリンピックは世界各国の人々が集まる大きなイベントであるほど、その多くの外国人たちを迎える準備を日本はこれからはなければならない。

オリンピックを開催するための準備にはたくさんあるが、まずは、様々な競技が行われるために必要な競技場、そして、多くの外国人が泊まることが出来る宿泊施設、飲食店など準備することは色々たくさんあるはずだ。しかし、このようなハードウェア的な部分だけの準備でオリンピックを成功的に開催することはできないのであろう。

何より重要なのは開催国として世界各国の多くの選手団や取材者や観光客が不便なく日本に滞在することが出来るようにすること、つまり、多方面で翻訳・通訳サービスを来日する外国人たちが受けられるようにすることである。それで、本稿ではグローバル化していく今の時代に翻訳・通訳がどれほど重要であるか、又、日本を中心として翻訳・通訳事業の産業化について述べたいと思う。

1. 翻訳・通訳とは

(1)ほんやく【翻訳】

ある言語で表された文章を他の言語に置き換えて表すこと。また、その文章。符号やわかりにくい言葉、特殊な言葉などを一般的な言葉に直すこと。「技術用語をして説明する」

細胞質内にあるリボゾーム上で、運搬 RNA (リボ核酸) が、伝令 RNA の遺伝情報としての塩基配列を読み取り、それに対応するアミノ酸を運んでたんぱく質に合成する過程。

(2) つうやく【通訳】

異なる言語を話す人の間に立って、双方の言葉を翻訳してそれぞれの相手方に伝えること。

2. 産業化とは

産業化とは社会学では「近代産業の発展により起こる社会的、文化的な変動の過程である」と定義する。産業化の定義は用語を扱う分野によって違う場合があるが、本稿では社会学的な視線での産業化を扱っている。したがって、翻訳・通訳の産業化とすると翻訳・通訳産業が発展することで社会的、文化的な変動を起こすことといえる。

3. 研究の重要性

(1) 世界の観光動向と日本の観光動向

UNWTO (世界観光機関) によると、2012 年の世界全体の国際観光客数は、厳しい世界経済にもかかわらず、前年比約 4% の増加となり、史上初めて 10 億人を突破した。2013 年については、引き続き 3 ~ 4% の堅調な増加となると予測されている。

このように世界の観光客の数は増えつつあるが、日本の場合は外国人旅行者受入数が比較的に低い方であって、以下のグラフを見るとわかる。

(2) アジアの観光収入

2012 年の国際観光客受入数の地域別シェアと国際観光収入の地域別シェアを比較した場合、世界の観光客の 22.6% がアジアを訪ねているが、観光収入は 7.4% が高い、世界の 30% を占めている。その他の地域の場合は米州が観光客の割合より収入の割合が 4.3% 高く、残りの地域は全地域が観光客の割合より収入の割合が低かった。



このことはアジアを観光する外国人は他の地域を観光するときより割合的に多くの消費をしているということである。

(3) 来日外国人増加による国益増加

訪日外国人旅行者数の推移を見てみると、平成 23 年に起きた東日本大震災により、外国人旅行者が減るどころか平成 24 年には増えたことがわ

かる。つまり、大震災があっても外国人旅行者はこれから増えつつある展望である。

特に 2020 年オリンピックの開

催地として東京が選ばれたことによって来日する外国人はもっと増えるのだろう。そして、このような動きに合わせ、日本政府は続けて来日する外国人を増やす政策をそして、外国人が便利に日本で生活できるような政策を作り上げている。翻訳・通訳もその外国人の日本での生活をサポートする重要なサービスの一つである。このサービスは来日する外国人観光客である短期滞在者だけではなく、留学生や日本に進出する企業などの長期滞在者もサービスの利用対象となる。日本に短期滞在者が増えると観光産業を通じた国の収益が期待され、長期滞在者が増えると少子高齢化が急速に進行し、将来の老年人口を支える人力の不足な日本にとって少子高齢化の対策にもなる。このように翻訳・通訳サービスは外国人と日本をより便利に繋ぐ手口になる同時に国益を増加させるサービスである。

したがって、翻訳・通訳サービスの重要性を知り、産業化させることは国をグローバル化させることや国益に重要な影響を与えられられる。

4. 翻訳・通訳事業の対象言語

(1) 世界の国の数

世界の国の数は 195 か国である。これは、現在、日本が承認している国の数である 194 か国に日本を加えた数で、最近では、南スーダン(2011 年 7 月 9 日)及びクック諸島(2011 年 3 月 25 日)を承認した。(外務省ホームページ)

(2) 世界の言語の数

世界にはいくつの言語があるだろう。まず、自分が知っている国を考えてみよう。

日本、中国、韓国、アメリカ、インド、スペイン、フランス、イギリス、ロシア……。国連に加盟している国の数は、190 を超えるまでになっている。では、言語の数はいくつあるのだろう。国の数と同じだろうかそれとも、国の数より多いのだろうか、少ないのだろうか。

学者によって数え方に違いはあるが、世界の言語の百科事典ともいえる Ethnologue によると、現在世界には 6900 ぐらいの言語があるといわれている。たとえば、ネパールのような小さな国でも、120 以上の言語が存在している。パプア・ニューギニアにいたっては 840 以上の言語があるといわれている。オーストラリアにも、いわゆる原住民の言語を入れると、270 以上の言語が存在するといわれているのである。



(http://www.eiken.or.jp/jr_step/enjoy/welco/me/detail01/detail_01.html)

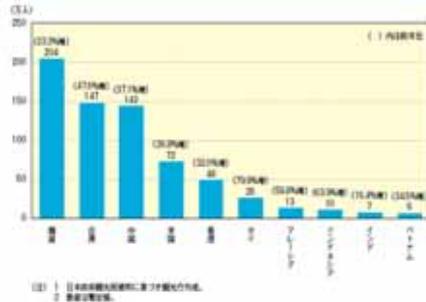
(3) 日本と密接な言語

翻訳・通訳サービスを産業化させるためには、まず、産業に対する需要を把握することが重要である。そこで、翻訳・通訳サービスの需要を把握するためには、とりあえず、どの国がどの国と密接な関係を持っているのかが重要となる。

本稿では、日本を中心とした翻訳・通訳の産業化について話しているのので、日本と密接な国、言語を調べてみることにする。

日本と密接な関係を持っている国がどこであるのかを知るためには、様々な方法があると思うが、最も良い方法は来日する外国人滞在者について調べてみることであろう。

訪日外国人旅行者数が韓国、台湾、中国、米国、香港、タイの順番に高くなっていて、日本と密接な言語としたら韓国語、台湾語、中国語、英語であり、タイ、マレーシアなどの国からも前年対比、非常に訪日外国人旅行者数が増えたのでこれから日本と密接な言語となると思われる。



5 . 翻訳・通訳の現状

(1) 翻訳・通訳の需要と分野

観光、国際ビジネス、国際会議、国際裁判などの多様な専門分野で、多くの外国人が翻訳・通訳を必要とする。

通訳

< 日常通訳 >

日常生活上で知らない外国語によって困ったときに必要とされる通訳である。日常生活上で発生する通訳の需要は専門性を要求するレベルではないので、スマートフォンの通訳アプリケーションやインターネットの翻訳ソフト及び電子辞書を利用して解決する人も多くいる。しかし、スマートフォンの通訳アプリケーションなどは詳細な翻訳・通訳までは出来ない場合があるため、利用上に注意する必要がある。

< 観光通訳 >

観光通訳と言うと、外国人が特定の国を観光する際に言葉が通じなくて困ることがないように通訳することで、外国人が無理なく観光が出来るように案内したりする通訳である。最近は技術の発達に従い、絵1のような「テレビ電話」での通訳案内も行っている。

「日本観光通訳協会」では特定の試験を通して

「通訳案内士資格」を発行しているが、通訳案内士(通訳ガイド)を規定する法律は、平成18年4月に施行された通訳案内士法がある。この法律の目的は、「通訳案内士の制度を定め、その業務の適正な実施を確保することにより、外国人観光客に対する接遇の向上を図り、もって国際観光の振興に寄与すること」(第1条)となっている。つまり、外国人による訪日観光の重要性を認めた法律であり、そのためには通訳案内士の保護育成が重要であると定められたものである。

< 医療通訳 >

外国人にとって病気やケガは、日本語の習得を待ってはくれない。また、病状の詳細や複雑な制度等の理解不足や誤解を放置すると、取り返しのつかない事態に発展しかねない。診療等で日本語による意思疎通が自由にならないとき、医療通訳は患者のみならず医療機関にとっても重要な存在である。なぜなら、命と健康を守るためには、適切かつ円滑な医療が必要不可欠だからである。

最近は国内で生活している外国人だけが日本の医療機関を訪ねるのではなく、外国から日本の医療サービスを受けるために来日する患者も増えている。それは、日本の医療技術が外国人患者から高い評価を受けているからである。

< 法廷通訳 >

日本語を理解できない外国人が被告人や証人となる刑事裁判で通訳を行う人又はその行為のこと。通訳が必要な事件ごとに、裁判所が選任する。資格試験はなく、地方裁判所で面接を受け、適任と認められると、通訳人候補者として名簿に登録される。

< 会議通訳 >

国際会議などの国際的な会談が行われる際には会議通訳で同時通訳が行われる。FTAなどの国際的協定などがたくさん行われることでその需要も増加するので、グローバル化していく現代には会議通訳の需要も高まっていく。

翻訳

< 契約書翻訳 >

英文契約書翻訳の場合には、間違いのない厳密な正確さが必要である。日本語の契約書にも独特な用語・用法や表現があるように、英文契約書も法律関係英語特有の用語・用法や表現がある。英文契約書翻訳に当っては、英語力はもとより、それに加えて法律関係の英語の知識が必要である。

< 本の翻訳 >

外国人が執筆した本や雑誌などを翻訳すること。

< 報告書の翻訳 >

企業の決算報告書を翻訳することで、日本語になっている決算報告書などを外国語に翻訳するか、外国語になっている決算報告書などを日本語に翻訳することである。

< ウェブ翻訳 >

グローバル時代になっていくことと共に企業もだんだんと世界に進出しようとする企業が増加し

ている。それで、企業のホームページを外国語版にも翻訳して作る企業が増えている。

< 都市施設翻訳 >

道路の表示板や公共施設などの案内などの外国語での翻訳が出来ていないところがある。そのような都市施設を翻訳したりすること。

上記のように翻訳・通訳の分野は他にも多くあるが、全ての共通点としたらこの世がグローバル化することと同時にその需要も増加するということである。

(2) 翻訳・通訳に対する人々の認識

翻訳・通訳を専攻として勉強をした人、または1回でも翻訳・通訳サービスを利用したことのある人以外には翻訳サービスや通訳サービスを利用するのにどのぐらいの費用がかかるのかわからないのが現状である。これは翻訳・通訳サービスがまだ産業化されていないということで、多くの人々に利用されていないということとなる。

6. 従来の翻訳・通訳サービスと課題

(1) 通訳サービス

通訳料 (日 ↔ 英・中・仏・西・独・露・伊 共通)

	1名 半日 (3時間以内)	1名 1日	延長 1時間
クラスS	¥ 80,000 (税込 ¥ 84,000)	¥ 120,000 (税込 ¥ 126,000)	¥ 19,000 (税込 ¥ 19,960)
クラスA	¥ 67,000 (税込 ¥ 70,260)	¥ 100,000 (税込 ¥ 105,000)	¥ 16,000 (税込 ¥ 16,800)
クラスB	¥ 53,000 (税込 ¥ 55,660)	¥ 80,000 (税込 ¥ 84,000)	¥ 13,000 (税込 ¥ 13,660)
一般クラス	¥ 34,000 (税込 ¥ 35,700)	¥ 50,000 (税込 ¥ 52,500)	¥ 8,000 (税込 ¥ 8,400)

条件に応じてクラスをご提案。お見積りいたしますのでお気軽にお問い合わせください。クラスおよび料金設定はサイト独自のものです。他社とは設定基準が異なります。通訳者の人数・クラス詳細については[こちら](#)をご覧ください。

利用の流れ

問い合わせ サービスの提案 発注
通訳者決定 詳細確認

通訳サービスを利用する際の流れの場合は、ほとんどの会社がお問い合わせからサービスの提供まで時間がかかるようになっていて、すぐに通訳サービスを利用することは出来ない。

(2) 翻訳サービス

翻訳サービスの場合は文字数を基準として価格を決める。日本語から英語に翻訳する場合、400字あたり 10,000 ~ 20,000 円となります。

従来の翻訳サービスの場合も通訳と同じようにお問い合わせからサービスの提供までの時間が長くなる

(3) 従来の翻訳・通訳の問題点

従来の通訳・翻訳サービス企業の場合、利用費用が高く、翻訳・通訳のクラス別に費用が分かれていてサービスの利用する側は費用の予測が非常に難しくなる。そして、サービスを利用するまでの流れが長くて時間がかかってしまう。このような翻訳・通訳サービスの場合はお問い合わせからサービスの提供までの時間がかかるため、急いで

サービスを利用したい人、例えば観光客、海外出張者、留学生などの場合は利用することが難しくなる。そして、価格も高いので短時間の通訳や短い分量の通訳・翻訳サービスがほしい人は利用しなくなってしまう。

7. 新しい形態の翻訳・通訳サービスの提案

従来の翻訳・通訳サービスの場合、サービスの利用料が高いことやサービスの利用者の問い合わせからサービスの提供までかかる時間が長いということが問題であると上記で指摘していた。それでは、翻訳・通訳サービスの利用料やサービスの提供までかかる時間の短縮のためにはどのようにすればいいのであろうか。

利用者の依頼からサービス提供までの時間短縮

従来の翻訳・通訳サービスの場合には電話、メール、ホームページでの依頼を通じて見積もりを取り、価格を決めてサービスを提供する形であったが、これは SNS(Social Network Service)を利用することで解決できると思われる。

日本の場合、「Line」というアプリケーションを多くの国民が利用していることで、このアプリケーションを利用して利用者からの依頼を受けると顧客の依頼にすぐに答えし、見積もりも早く知らせることが出来るようになる。

Line: 携帯電話 & PC のアプリケーションとして、利用者間無料でチャット及び通話ができる)

急いで通訳サービスを利用したい人のためのサービス

「多言語コンタクトセンター」つまり、コールセンターを利用して急いで通訳サービスを利用したい人たちの需要に対応することができる。

忙しくて急に外国に行くことになって言葉が通じない人や海外旅行をする途中に予想外のことに遭った時、コールセンターのオペレーターによる電話通訳を通して、必要な時に必要な分だけの通訳サービスを利用することができる。これは正に通訳の JIT (Just In Time) である。それに、電話通訳なので利用料金も安くすることができる。

通訳者・通訳者の性別を利用者が選択できるようにする

男性が使う言葉や女性が使う言葉は大体同じであるが、同じ状況でも微妙に違う表現をする場合がある。そして、異性には翻訳・通訳を依頼したくない場合がある。例えば、日本では女性が話しの最後に「わ」を付けることや、妊婦が出産のために産婦人科を利用するが、言語が出来ないため翻訳・通訳サービスを利用する場合がそれである。このような繊細なことを考えたサービスの提供で利用者の満足度が高まるようになる。

多様なサービスができるようにする

翻訳サービスと通訳サービスは密接な関係にあって、サービスの専門性を生かすために片方だけのサービスだけを提供することより、翻訳・通訳サービスを共に提供しながらも専門性を深めるこ

とがこれからの顧客のニーズに対応できると予測される。また、それだけではなく「医療通訳」「法廷通訳」「会議通訳」「契約書通訳」「本の通訳」「報告書の通訳」「ウェブ通訳」「都市施設通訳」などのような専門分野の通訳・通訳サービスについても提供ができる、多様なサービスができる企業が望ましい。

日本の場合には2013年9月、2020年の夏季オリンピックの開催が日本の東京に決まったことにより、多くの外国人たちを迎える準備を日本はこれからはしなければならない。オリンピックを開催するための準備にはたくさんあるが、まずは、様々な競技が行われるために必要な競技場、そして、多くの外国人が泊まることのできる宿泊施設、飲食店など準備することは色々たくさんあるはずであるが、このようなハードウェア的な部分だけの準備でオリンピックを成功に開催することはできないのであろう。もちろんハードウェア的な部分も重要であるが、世界各国の多くの選手団や取材者や観光客が不便なく日本旅行が出来るようにすること、つまり、多方面で通訳・通訳サービスを来日する外国人たちが受けられるようにするソフトウェア的な部分も極めて重要である。通訳・通訳サービスを産業化させ、外国人が過ごしやすい国をつくることで、オリンピックや観光などによる日本短期滞在者が増えると観光産業を通じた国の収益が期待され、また長期滞在者が増えると急速に進行する少子高齢化により、将来の老年人口を支える人材の不足な日本にとって少子高齢化の対策にもなる。このように通訳・通訳サービスは外国人と日本をより便利に繋ぐ手口になる同時に国益を増加させるサービスである。

したがって、通訳・通訳サービスを産業化させることは国をグローバル化させることや国益に重要な影響を与えることとなる。しかし、現在このような通訳・通訳サービスに対する人々の認知度は非常に低く、通訳・通訳サービスは多くの人々には利用されていないサービス分野である。



栗原(憲)君 新年あけましておめでとうございます。東京北RC井上様ようこそお出で下さいました。米山記念奨学生・金強重君卓話よろしくお願い致します。

宮野君 昨年はお世話になりました。本年もよろしくお願い致します。

東君 本年もよろしくお願い致します。
江原君 皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。金君、新年最初の卓話、昨年より楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。

古谷君 あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

中央RCの会員増強、後3～4名目標にしています。皆さんよろしく申し上げます。沼崎様、ガバナー補佐頑張らずに頑張ってください。

稲見君 明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

栗原(成)君 楽しいロータリーを今年も作って行きます様申し上げます。

中谷君 金強重君、今日の卓話よろしく申し上げます。楽しみにしておりました。

沼崎君 明けましておめでとうございます。今年は厳しい一年になるようで、健康に気をつけて生活します。本年もよろしく申し上げます。

小澤君 あけましてお目めでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

狭山中央RC美女軍団
明けましておめでとうございます。
今年も美女軍団頑張ってください。よろしく申し上げます。

会員誕生祝 中谷君 高岸君 田中君
夫人誕生祝 東君 栗原(憲)君 守屋君

佐々木君 佐藤君
結婚記念日 古谷君 佐藤君